

国保みやざき

vol.4

2021年8月号



下阿蘇ビーチ（延岡市）



宮崎県国民健康保険
イメージキャラクター
「オレンジくん」

CONTENTS

01 クローズアップ

- 令和3年7月 国保連合会通常総会を開催
令和2年度事業実施報告・各会計決算を可決
- 宮崎県国民健康保険団体連合会役員名簿
- 令和2年度各会計決算報告

02 NEWS & TOPICS

- 国保総合システムの次期更改に対する
国の財政措置を陳情
- 令和3年度第1回国保主管課長会議

03 情報ひろば

04 国保連行事予定（8月～10月）

クローズアップ

令和3年7月 国保連合会通常総会を開催

●令和2年度事業実施報告・各会計決算を可決

7月30日（金）、本会で令和3年国保連合会通常総会を開催しました。今回の総会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、パーティションを設置しての開催となりました。開会にあたり、戸敷正理事長（宮崎市長）が「令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大にかかる医療機関への概算前払い対応や、慰労金・支援金の支給事務など、社会情勢の急激な変化に臨機応変かつ確実に実施してきたところであり、今後とも、国保保険者の共同体としての役割を果たしてまいりたい。」とあいさつ。総会では、専決報告事項2件、議決事項5件、報告事項1件が提案され、全て原案のとおり可決されました。

また、本会役員任期満了に伴う役員改選が提案され、新役員が次頁のとおり選任されました。



戸敷 正 理事長（宮崎市長）

◆専決報告事項

【専決報告事項第1号】令和2年度各会計歳入歳出補正予算

【専決報告事項第2号】令和3年度各会計歳入歳出補正予算

◆議決事項

【議案第1号】令和2年度事業実施報告

【議案第2号】令和2年度各会計歳入歳出決算

【議案第3号】令和3年度各会計歳入歳出補正予算（案）

【議案第4号】令和3年度資産の積立（案）

【議案第5号】役員改選（案）

◆報告事項

【報告事項第1号】国保総合システムの次期更改に対する国の財政支援の要望について（経過報告）



通常総会の様子

お問い合わせ先 総務企画課 総務財政係

TEL 0985-25-4901 / FAX 0985-83-3359

E-mail: soumu@kokuhoren-miyazaki.or.jp

クローズアップ

宮崎県国民健康保険団体連合会役員名簿

任期 自 令和 3 年 7 月通常総会終了から

至 令和 5 年 7 月通常総会終了まで

(令和 3 年 8 月 2 日現在)

役職名	氏名	公職名
理事長	戸 敷 正	宮崎市長
副理事長	宮 原 義 久	小林市長
副理事長	木佐貫 辰生	三股町長
常務理事	佐 野 詔 藏	学識経験者
理事	池 田 宜 永	都城市長
理事	読谷山 洋 司	延岡市長
理事	十 屋 幸 平	日向市長
理事	半 渡 英 俊	木城町長
理事	安 田 修	門川町長
理事	甲 斐 宗 之	高千穂町長
理事	秦 喜 八 郎	医師国保組合理事長
監事	高 橋 透	日南市長
監事	粕 田 学	綾町長

お問い合わせ先 総務企画課 総務財政係
TEL 0985-25-4901 / FAX 0985-83-3359
E-mail: soumu@kokuhoren-miyazaki.or.jp

クローズアップ

令和2年度各会計決算報告

(1) 令和2年度 一般会計歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 負担金	92,923,000	92,925,700	1. 会議費	502,000	311,244
2. 国庫支出金	7,095,000	5,695,000	2. 総務費	631,390,000	594,655,371
3. 中央会支出金	9,239,000	11,064,278	3. 会館管理費	77,266,000	64,463,649
4. 財産収入	201,000	28,948,581	4. 事業費	11,710,717,000	9,122,059,621
5. 繰入金	639,455,000	591,578,842	5. 積立金	60,120,000	30,972,984
6. 繰越金	79,200,000	44,450,566	6. 借入金償還金	2,000	0
7. 諸収入	7,977,000	5,225,610	7. 諸支出金	2,120,000	1,415,728
8. 県支出金	11,676,651,000	9,103,842,696	8. 予備費	30,624,000	0
歳入合計	12,512,741,000	9,883,731,273	歳出合計	12,512,741,000	9,813,878,597

歳入合計 9,883,731,273 円 - 歳出合計 9,813,878,597 円 = 歳入歳出差引残高 69,852,676 円
翌年度繰越金 69,852,676 円

※翌年度繰越金の内 33,000円 は国保連合会等補助金返還分

(2) 令和2年度 診療報酬審査支払特別会計(業務勘定)歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 手数料	499,825,000	453,088,459	1. 総務費	343,818,000	249,406,005
2. 負担金	69,412,000	63,997,039	2. レセプト点検共同事業費	25,677,000	23,767,596
3. 分担金	26,495,000	26,493,200	3. 求償事務処理費	9,292,000	7,275,229
4. 国庫支出金	18,675,000	15,250,319	4. 審査委員会費	42,461,000	39,763,980
5. 県支出金	3,461,000	3,459,896	5. レセ処理システム開発特別分担金	3,249,000	2,852,802
6. 繰入金	112,165,000	58,050,229	6. 積立金	86,535,000	86,000,000
7. 繰越金	58,267,000	59,095,548	7. 借入金償還金	1,000	0
8. 諸収入	60,777,000	53,198,626	8. 諸支出金	331,298,000	303,086,102
9. 財産収入	100,000	61,151	9. 予備費	6,846,000	0
歳入合計	849,177,000	732,694,467	歳出合計	849,177,000	712,151,714

歳入合計 732,694,467 円 - 歳出合計 712,151,714 円 = 歳入歳出差引残高 20,542,753 円
翌年度繰越金 20,542,753 円

※翌年度繰越金の内 686,000円 は新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金返還分

(3) 令和2年度 診療報酬審査支払特別会計(国民健康保険診療報酬支払勘定)歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 国民健康保険診療報酬等受入金	103,226,000,000	88,766,741,423	1. 国民健康保険診療報酬等支出金	103,226,000,000	88,766,741,423
2. 損害賠償受入金	200,000,000	119,252,740	2. 損害賠償支出金	200,000,000	119,252,740
3. 貸付金利子	1,000	0	3. 借入金償還金	2,784,000	2,736,475
4. 繰越金	1,000	9,617	4. 諸支出金	1,000	0
5. 諸収入	1,000	0	5. 予備費	1,000	0
6. 借入金	2,733,000	2,733,000			
7. 国庫補助金	50,000	3,475			
歳入合計	103,428,786,000	88,888,740,255	歳出合計	103,428,786,000	88,888,730,638

歳入合計 88,888,740,255 円 - 歳出合計 88,888,730,638 円 = 歳入歳出差引残高 9,617 円
翌年度繰越金 9,617 円

(4) 令和2年度 診療報酬審査支払特別会計(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 公費負担医療受入金	4,077,612,000	2,971,780,554	1. 公費負担医療支出金	4,078,612,000	2,971,691,915
2. 出産育児一時金等受入金	449,400,000	387,608,681	2. 出産育児一時金等支出金	449,400,000	387,608,681
3. 国庫支出金	1,000,000	1,429,138	3. 諸支出金	3,695,000	3,693,344
4. 繰越金	3,695,000	3,702,159	4. 予備費	1,000	0
5. 諸収入	1,000	0			
歳入合計	4,531,708,000	3,364,520,532	歳出合計	4,531,708,000	3,362,993,940

歳入合計 3,364,520,532 円 - 歳出合計 3,362,993,940 円 = 歳入歳出差引残高 1,526,592 円
翌年度繰越金 1,526,592 円

※翌年度繰越金の内 1,517,773円 は高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金返還分

(5) 令和2年度 診療報酬審査支払特別会計(抗体検査等費用に関する支払勘定)歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 抗体検査等費用受入金	161,673,000	98,645,698	1. 抗体検査等費用支出金	161,673,000	98,645,698
2. 県支出金	1,000	0	2. 借入金償還金	2,000	0
3. 繰越金	1,000	0	3. 予備費	1,000	0
4. 借入金	1,000	0			
歳入合計	161,676,000	98,645,698	歳出合計	161,676,000	98,645,698

歳入合計 98,645,698 円 - 歳出合計 98,645,698 円 = 歳入歳出差引残高 0 円
翌年度繰越金 0 円

(6) 令和2年度 広報共同事業特別会計歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 共同事業負担金	23,920,000	23,920,000	1. 総務費	22,476,000	20,086,428
2. 県支出金	1,000	0	2. 予備費	2,250,000	0
3. 繰入金	1,000	0			
4. 繰越金	802,000	1,058,528			
5. 諸収入	2,000	0			
歳入合計	24,726,000	24,978,528	歳出合計	24,726,000	20,086,428

歳入合計 24,978,528 円 - 歳出合計 20,086,428 円 = 歳入歳出差引残高 4,892,100 円
翌年度繰越金 4,892,100 円

(7) 令和2年度 介護保険事業関係業務特別会計（業務勘定）歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 手数料	129,337,000	124,119,071	1. 総務費	65,416,000	50,441,800
2. 国庫支出金	3,169,000	1,739,668	2. 求償事務処理費	578,000	450,249
3. 県支出金	662,000	261,000	3. 審査委員会費	1,083,000	831,860
4. 負担金	1,000	0	4. 介護サービス苦情処理委員費	258,000	39,900
5. 繰入金	12,410,000	8,035,000	5. 国保中央会負担金	29,735,000	28,761,814
6. 繰越金	33,391,000	22,209,534	6. 積立金	16,918,000	15,511,000
7. 介護予防ケアサービス負担金受入金	860,000	68,960	7. 諸支出金	40,914,000	37,878,628
8. 諸収入	370,000	225,870	8. 介護予防ケアサービス負担金支出金	860,000	68,960
9. 財産収入	10,000	2,539	9. 予備費	24,448,000	0
歳入合計	180,210,000	156,661,642	歳出合計	180,210,000	133,984,211

歳入合計 156,661,642 円 - 歳出合計 133,984,211 円 = 歳入歳出差引残高 22,677,431 円
翌年度繰越金 22,677,431 円

(8) 令和2年度 介護保険事業関係業務特別会計（介護給付費等支払勘定）歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 介護給付費受入金	104,383,500,000	101,157,201,766	1. 介護給付費支出金	104,383,500,000	101,157,201,766
2. 介護予防・日常生活支援総合事業費受入金	3,132,000,000	2,438,576,730	2. 介護予防・日常生活支援総合事業費支出金	3,132,000,000	2,438,576,730
3. 損害賠償受入金	20,000,000	17,440,492	3. 損害賠償支出金	20,000,000	17,440,492
4. 県支出金	1,000	0	4. 繰出金	1,000	0
5. 繰越金	1,000	1,407	5. 予備費	2,000	0
6. 諸収入	1,000	0			
歳入合計	107,535,503,000	103,613,220,395	歳出合計	107,535,503,000	103,613,218,988

歳入合計 103,613,220,395 円 - 歳出合計 103,613,218,988 円 = 歳入歳出差引残高 1,407 円
翌年度繰越金 1,407 円

(9) 令和2年度 介護保険事業関係業務特別会計（公費負担医療等に関する報酬等支払勘定）歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 公費負担医療等受入金	940,173,000	865,248,143	1. 公費負担医療等支出金	940,173,000	865,248,143
2. 県支出金	1,000	0	2. 繰出金	1,000	0
3. 繰越金	1,000	2,596	3. 予備費	2,000	0
4. 諸収入	1,000	0			
歳入合計	940,176,000	865,250,739	歳出合計	940,176,000	865,248,143

歳入合計 865,250,739 円 - 歳出合計 865,248,143 円 = 歳入歳出差引残高 2,596 円
翌年度繰越金 2,596 円

(10) 令和2年度 障害者総合支援法関係業務等特別会計（業務勘定）歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 手数料	39,917,000	37,787,887	1. 総務費	9,410,000	7,052,760
2. 国庫支出金	1,000	0	2. 国民健康保険中央会負担金	14,646,000	14,165,545
3. 県支出金	1,000	0	3. 積立金	3,848,000	3,047,000
4. 繰入金	3,645,000	1,945,000	4. 諸支出金	11,404,000	10,564,804
5. 繰越金	800,000	2,520,096	5. 予備費	5,471,000	0
6. 諸収入	415,000	320,301			
歳入合計	44,779,000	42,573,284	歳出合計	44,779,000	34,830,109

歳入合計 42,573,284 円 - 歳出合計 34,830,109 円 = 歳入歳出差引残高 7,743,175 円
翌年度繰越金 7,743,175 円

クローズアップ

(11) 令和2年度 障害者総合支援法関係業務等特別会計（障害介護給付費支払勘定）歳入歳出決算書 (単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 障害介護給付費受入金	32,085,870,000	31,146,663,665	1. 障害介護給付費支出金	32,085,870,000	31,146,663,665
2. 国庫支出金	1,000	0	2. 借入金償還金	2,000	0
3. 県支出金	1,000	0	3. 繰入金	1,000	0
4. 繰越金	1,000	0	4. 予備費	1,000	0
5. 諸収入	1,000	0			
歳入合計	32,085,874,000	31,146,663,665	歳出合計	32,085,874,000	31,146,663,665

歳入合計 31,146,663,665 円 - 歳出合計 31,146,663,665 円 = 歳入歳出差引残高 0 円
翌年度繰越金 0 円

(12) 令和2年度 後期高齢者医療事業関係業務特別会計（業務勘定）歳入歳出決算書 (単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 手数料	442,023,000	420,964,024	1. 総務費	209,054,000	130,523,802
2. 負担金	16,663,000	16,288,836	2. 求償事務処理費	10,672,000	8,365,251
3. 国庫支出金	7,734,000	8,879,319	3. 審査委員会費	47,550,000	44,507,157
4. 県支出金	1,000	0	4. 積立金	116,590,000	109,824,400
5. 財産収入	10,000	3,377	5. 借入金償還金	1,000	0
6. 繰入金	105,708,000	50,842,011	6. 諸支出金	288,789,000	265,549,401
7. 繰越金	210,803,000	231,466,720	7. 予備費	110,410,000	0
8. 借入金	1,000	0			
9. 諸収入	123,000	328,940	歳出合計	783,066,000	558,770,011
歳入合計	783,066,000	728,773,227			

歳入合計 728,773,227 円 - 歳出合計 558,770,011 円 = 歳入歳出差引残高 170,003,216 円
翌年度繰越金 170,003,216 円

※翌年度繰越金の内 5,147,000円 は後期高齢者医療制度関係事業費補助金返還分

(13) 令和2年度 後期高齢者医療事業関係業務特別会計（後期高齢者医療診療報酬支払勘定）歳入歳出決算書 (単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 後期高齢者医療診療報酬受入金	161,400,000,000	144,717,572,334	1. 後期高齢者医療診療報酬支出金	161,400,000,000	144,717,572,334
2. 損害賠償受入金	180,000,000	159,781,600	2. 損害賠償支出金	180,000,000	159,781,600
3. 県支出金	1,000	0	3. 借入金償還金	2,530,000	2,485,155
4. 繰越金	1,000	0	4. 予備費	1,000	0
5. 諸収入	1,000	0			
6. 借入金	2,482,000	2,482,000	歳出合計	161,582,531,000	144,879,839,089
7. 国庫補助金	46,000	3,155			
歳入合計	161,582,531,000	144,879,839,089			

歳入合計 144,879,839,089 円 - 歳出合計 144,879,839,089 円 = 歳入歳出差引残高 0 円
翌年度繰越金 0 円

(14) 令和2年度 後期高齢者医療事業関係業務特別会計（後期高齢者医療公費支払勘定）歳入歳出決算書 (単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 公費負担医療受入金	1,613,691,000	1,185,025,402	1. 公費負担医療支出金	1,613,691,000	1,185,025,377
2. 県支出金	1,000	0	2. 借入金償還金	2,000	0
3. 繰越金	1,000	539	3. 予備費	1,000	0
4. 諸収入	1,000	0	歳出合計	1,613,694,000	1,185,025,377
歳入合計	1,613,694,000	1,185,025,941			

歳入合計 1,185,025,941 円 - 歳出合計 1,185,025,377 円 = 歳入歳出差引残高 564 円
翌年度繰越金 564 円

(15) 令和2年度 特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計歳入歳出決算書 (単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 特定健診費用受入金	790,000,000	676,487,997	1. 特定健診費用支出金	790,000,000	676,487,997
2. 手数料	28,819,000	26,390,201	2. 総務費	13,105,000	11,380,911
3. 繰入金	2,886,000	1,985,000	3. 積立金	5,326,000	4,841,000
4. 繰越金	4,900,000	4,365,971	4. 繰出金	10,322,000	9,805,262
5. 諸収入	1,000	12,974	5. 諸出金	1,000	0
歳入合計	826,606,000	709,242,143	6. 予備費	7,852,000	0
			歳出合計	826,606,000	702,515,170

歳入合計 709,242,143 円 - 歳出合計 702,515,170 円 = 歳入歳出差引残高 6,726,973 円
翌年度繰越金 6,726,973 円

お問い合わせ先 総務企画課 出納係
TEL 0985-25-4901 / FAX 0985-83-3359
E-mail: soumu@kokuhooren-miyazaki.or.jp

国保総合システムの次期更改に対する 国の財政措置を陳情

令和3年6月28日(月)全国の国保連
合会及び国保中央会が一堂に会する全国国
保連合会総合調整会議が開催され、国保総
合システムの次期更改に係る国庫補助の獲
得のため、各都道府県国保連合会及び国保
中央会において、主要国会議員に対する国
庫補助の陳情活動を行うことが決定されま
した。

これを受け、本会では7月16日(金)、
7月26日(月)、7月27日(火)に、5名の
地元選出国會議員に対し、国の意向を踏ま
え実施する次期国保総合システムの更改に
係る経費については、保険者や被保険者に
負担が生じないように、国の責任において必
要な財政措置を講じることを求める陳情活
動を行いました。

(下記参照)

決 議

国保中央会・国保連合会が発運用している「国保総合システム」は、国保制度等の基盤を支える極めて公共性の高い重要なインフラであるが、令和六年三月に機器の保守期限が到来するため、システムの更改を行うこととしている。

こうした中、国保総合システムのあり方については、政府の規制改革実施計画及び厚生労働省の検討会等において、クラウドサービスの利用や支払基金新システムとの整合性の確保等が求められており、国保中央会・国保連合会としては、これらに積極的に取り組んでいく決意である。

しかしながら、この改革を実現するためには、国保総合システムの更改内容を大幅に見直しざるを得ず、本会の試算によれば国保中央会・国保連合会が準備している財源を全額充てても、令和四年度・五年度の合計で百数十億円もの財源不足が生じる見込みである。国保連合会ではその不足財源を賄うためには、保険者等から徴収する審査支払手数料等を引き上げて対応せざるを得ないが、国保保険者及び後期高齢者医療広域連合は財政基盤が脆弱な上、新型コロナウイルス感染症の影響により被保険者の所得が下がっており、この費用を保険料(税)の引き上げで負担することは到底不可能である。

よって、国の意向を踏まえ実施する次期国保総合システムの更改に係る経費については、保険者や被保険者に負担が生じないように、国の責任において必要な財政措置を講じるよう強く要望する。

右、決議する。

令和三年六月二十九日

国民健康保険中央会定期総会

(要望書)

日付	陳情した国会議員
7月16日(金)	江藤 拓 衆議院議員
7月26日(月)	武井 俊輔 衆議院議員
	長峯 誠 参議院議員
7月27日(火)	松下 新平 参議院議員
	古川 禎久 衆議院議員

(陳情活動のスケジュール)



(陳情活動の様子)

お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

令和3年度第1回国保主管課長会議開催

7月6日（火）、令和3年度第1回国保主管課長会議を、県・市町村・国保組合から29人の出席と、後期高齢者医療広域連合1人のオブザーバー参加のもと、Web会議で開催しました。

本会議は、7月30日（金）に開催する本会の「理事会・通常総会」に上程予定の議案について、国保主管課長に対して事前に説明することが目的であり、専決報告事項2件、議決事項4件、報告事項1件について説明を行いました。

事業実施の主な内容として、本会の主要業務である診療報酬等の審査支払に関する事業等の説明を行いました。

また、「国保総合システムの次期更改に対する国の財政支援の要望について(経過報告)」として、本会における要望活動の状況や、国保中央会における、厚生労働大臣等に対する陳情活動について報告をしました。

その他、議案等の説明とは別に「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業」に関する本会の役割と4月以降の処理実績について説明を行いました。



【専決報告事項】

- ①令和2年度各会計歳入歳出補正予算
- ②令和3年度各会計歳入歳出補正予算

【議決事項】

- ①令和2年度事業実施報告
- ②令和2年度各会計歳入歳出決算
- ③令和3年度各会計歳入歳出補正予算（案）
- ④令和3年度資産の積立（案）

【報告事項】

- ①国保総合システムの次期更改に対する国の財政支援の要望について（経過報告）



国保主管課長会議の様子

お問い合わせ先 総務企画課 総務財政係
TEL 0985-25-5059 / FAX 0985-83-3359
E-mail: soumu@kokuhoren-miyazaki.or.jp

後期高齢者医療広域連合通信

後期高齢者医療の 被保険者証が 切り替わります

令和3年
8月1日から

旧

令和3年7月31日まで

後期高齢者医療被保険者証

有効期限 令和3年7月31日

被保険者番号 12345678

住所 宮崎県宮崎市橘通東3丁目1111

氏名 宮崎 花子 性別 女

生年月日 昭和00年00月00日 資格取得年月日 令和00年00月00日

発給期日 令和00年00月00日 交付年月日 令和3年5月1日

一部負担金の割合 〇割

保険者番号 3945****

保険者名 宮崎県後期高齢者医療広域連合

新

後期高齢者医療被保険者証

有効期限 令和4年7月31日

被保険者番号 12345678

住所 宮崎県宮崎市橘通東3丁目1111

氏名 宮崎 花子 性別 女

生年月日 昭和00年00月00日 資格取得年月日 令和00年00月00日

発給期日 令和00年00月00日 交付年月日 令和3年8月1日

一部負担金の割合 〇割

保険者番号 3945****

保険者名 宮崎県後期高齢者医療広域連合

みどり色に切り替わります

開いた状態(表側)

<p>後期高齢者医療被保険者証</p> <p>有効期限 令和4年7月31日</p> <p>被保険者番号 12345678</p> <p>住所 宮崎県宮崎市橘通東3丁目1111</p> <p>氏名 宮崎 花子 性別 女</p> <p>生年月日 昭和00年00月00日 資格取得年月日 令和00年00月00日</p> <p>発給期日 令和00年00月00日 交付年月日 令和3年8月1日</p> <p>一部負担金の割合 〇割</p> <p>保険者番号 3945****</p> <p>保険者名 宮崎県後期高齢者医療広域連合</p>	<p>医師・薬剤師の皆様へ</p> <p>ジェネリック医薬品を 希望します</p> <p>※ジェネリック医薬品とは新薬（先発医薬品） と同一有効成分を従っており、品質、効き目、 安全性が同等で価格がお安いです。</p>
---	--

(裏側)

<p>宮崎県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療被保険者証</p> <p>※このカードの裏はジェネリック医薬品希望カードに なっています。ジェネリック医薬品を希望しない方は、 右の状態でこのカードを切り取ってください。 ※このカードを切り取っても、右のカードだけ で被保険者証として使用できます。</p>	<p>【備考】</p> <p>1 転写、複製及び心臓停止した状態のい ずれでも、移転のために機器を提供します。 2 転写、複製が停止した状態に転写機種の 為、機器を提供します。 3 転写、複製を提供しません。 1又は2を選んだ方で、提供したくない機器があれば、×をつけて 下さい【心臓、肺、腎臓、脚臓、小腸、胆嚢】</p> <p>特記事項： 署名年月日： 年 月 日 本人署名 家族署名 〔印鑑〕 〔印鑑〕</p> <p>エビは被保険者に課 する請求を減らす ために発行できます。 印刷するユーロの郵 送もで選んで下さ い。</p>
---	--

機器提供意思表示欄

○被保険者証には「ジェネリック医薬品希望カード」が付いています。
希望される方は、切り離さず折り曲げてご使用いただくと便利です。
(希望されない方は、切り取って被保険者証だけを提示してください。)

○7月下旬にご本人あてに郵送いたしております。

○8月からは新しい「みどり色」の被保険者証をご使用ください

お問い合わせは、お住まいの市町村担当窓口か宮崎県後期高齢者医療広域連合へ
宮崎県後期高齢者医療広域連合 電話 0985-62-0921

情報ひろば

こくほ随想 審査支払機関の改革

上智大学総合人間科学部教授 一般社団法人未来研究所臥龍代表理事
香取照幸

改正支払基金法が今年4月に施行された。審査支払機関改革は医療保険に関わる規制緩和・行政改革の中で長年議論されてきたテーマであり、今回の改革では、支払基金の改革と合わせて、国保連についても審査事務高度化の基本計画が策定された。改革の内容は多岐にわたっており、審査支払機関の改革をめぐる議論はこれで一区切りがついた、というところであろう。

実はこの議論、個人的に私は昔から少し違和感があった。もちろん事務の効率化や組織体制の見直しは不断に進めるべきことなのだが、議論の前提、つまり今の日本の審査支払システムは極めて非効率・高コストで組織再編を含む抜本的な改革が必要だ、という規制改革推進会議の問題認識に素朴な疑問を感じていたからである。

アメリカの医療制度と比較して考えてみよう。アメリカの医療制度には様々な問題があるが、事業運営上の最大のコスト要因は、医療機関にとっても保険者にとっても、請求・審査(査定)・支払の事務なのだ。

周知のようにアメリカの医療制度は高齢者と低所得者を除いて民間保険会社が保険者で、それぞれ様々な保険商品を売っている。

商品ごとに適用範囲も償還価格も条件も違う。商品の数だけ点数表があり、患者ごとに請求できる医療費の範囲も請求様式も請求相手(保険会社)も異なる、ということだ。

従って医療機関サイドの「費用請求」事務は膨大なものになる。何せ患者ごとに請求相手も請求様式も報酬基準も違うから、保険会社の数だけ、保険商品の数だけ請求様式・請求条件があってそれに合わせて何通りものシステムを用意しなければならない。アメリカの病院の事務部門はとても大きい。

加えて、実際に起こっていることは、医療機関は請求できるだけ目一杯請求し、保険会社は査定できるだけ目一杯査定する、というバトルだ。請求側も査定側も膨大なマンパワーとコストをかけて、このバトルを日常的にやっている。

そのコストたるや膨大なもので、総医療費の8%に達する。アメリカの医療費は対GDP比20%になろうかという膨大なものだから、GDPの2%近く、日本に置き直せば10兆円近いコストが事務経費にかかっていることになる。となれば、医療事務の効率化・IT化は非常に大きなコスト削減効果を生む。だからアメリカでは医療事務の効率化・IT化は医療改革の大きなテーマになるのだ。

翻って日本。特殊な医療を除けばほぼ全ての医療行為は保険適用。診療報酬は公定価格でどの保険者でも一律。請求先も(保険者が幾つあろうが)2箇所(基金と国保連)だけ。患者がこの保険に入っていようと医療機関側の請求事務は基本的に全部同じ。請求様式も同じ、診療単価も同じ。

審査支払機関側も、審査基準は一律（療養担当規則と点数表・疑義解釈）。むしろ支部ごとに査定基準が違うことが問題になるような世界だ。

日本の総医療費に占める審査支払コストは1%強。そもそも日本の医療費はマクロで見てもミクロで見ても安い。医師の報酬も国際標準から見たらささやかなもの。その安い総医療費の、たった1%しかならないのだ。

もちろんレセプトの電子化やシステム全体のICT化はとても大事なことで、今後も積極的に進めていくべきだと思うが、ICTやビッグデータの話はもっと他のところで大きな付加価値を生むもので、既存事務の効率化やコスト削減の視点からだけで議論するのはその重要性を矮小化することになりかねない。

議論すべきはもっと大きなところで、審査支払の大前提である診療報酬体系や本来の意味での保険者機能・権能をどうするか、というところにあるのではないだろうか、というのが私の印象である。（記事提供 社会保険出版社）

【プロフィール】

香取 照幸

(かとり てるゆき)

出身地 東京都
生年月日 1956年10月3日
上智大学総合人間科学部教授
一般社団法人未来研究所副代表理事



【学歴】

1980年3月 東京大学法学部卒

【職歴】

1980年4月 厚生省入省
1980年5月 厚生省保険局国民健康保険課
1983年2月 在フランスOECD(経済協力開発機構)事務局研究員(医療プロジェクト担当)
1990年4月 埼玉県生活福祉部老人福祉課長
1992年4月 厚生省保険局国民健康保険課課長補佐
1996年7月 厚生省高齢者介護対策本部事務局次長
1998年4月 厚生省大臣官房組織再編準備室次長

2001年1月 内閣府参事官(経済財政諮問会議事務局)
2001年5月 内閣官房内閣参事官(総理大臣官邸)
2008年2月 内閣官房内閣参事官併任(社会保障国民会議事務局)
2010年7月 厚生労働省政策統括官(社会保障担当)
2010年11月 内閣官房内閣審議官併任(社会保障・税一体改革担当)
2012年9月 厚生労働省年金局長
2015年10月 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長
2016年6月 退官
2017年3月 在アゼルバイジャン共和国駐箚日本国特命全権大使
2020年4月 上智大学総合人間科学部教授
2020年8月 一般社団法人未来研究所副代表理事

【公職】

日本年金学会会員、日本医師会 医療政策会議委員、日本地域包括ケア学会評議員など

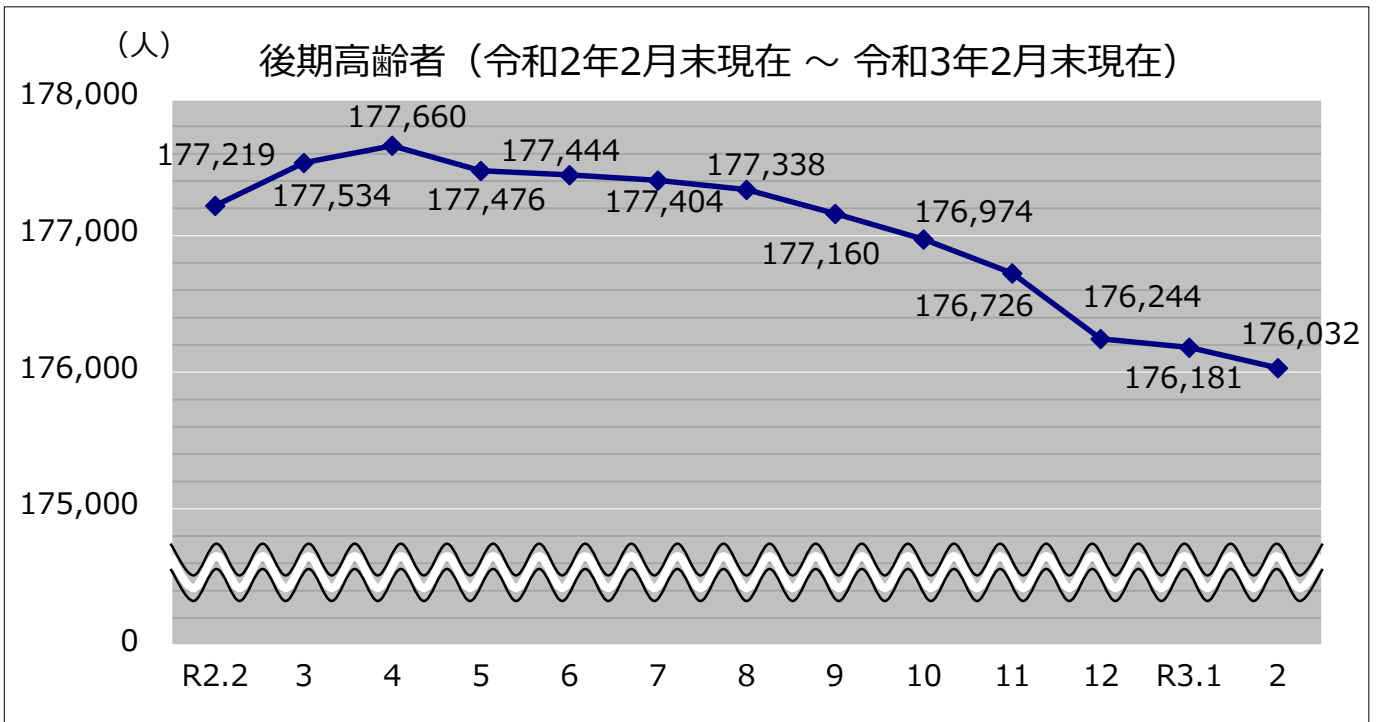
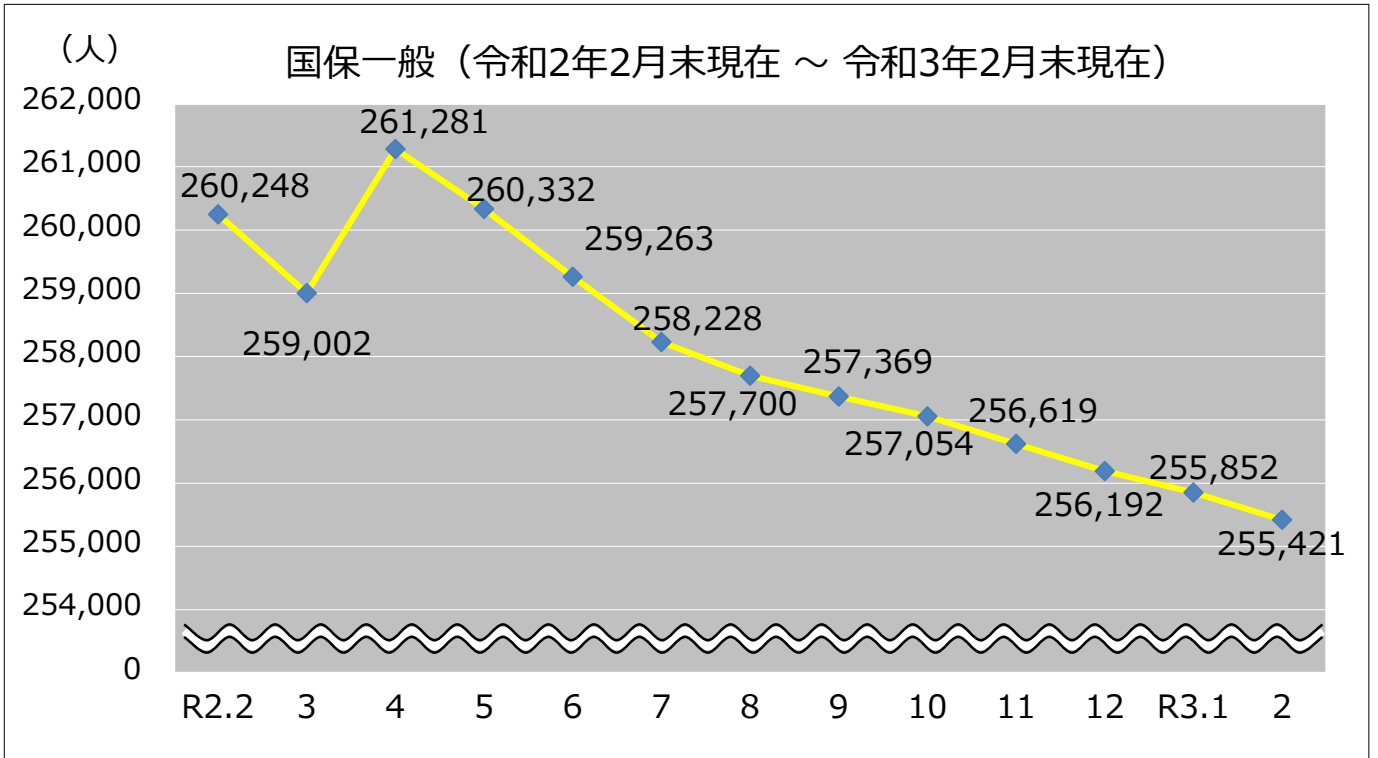
【著書】

「介護保険制度史」(共著)「教養としての社会保障」
「民主主義のための社会保障」(いずれも東洋経済新報社)

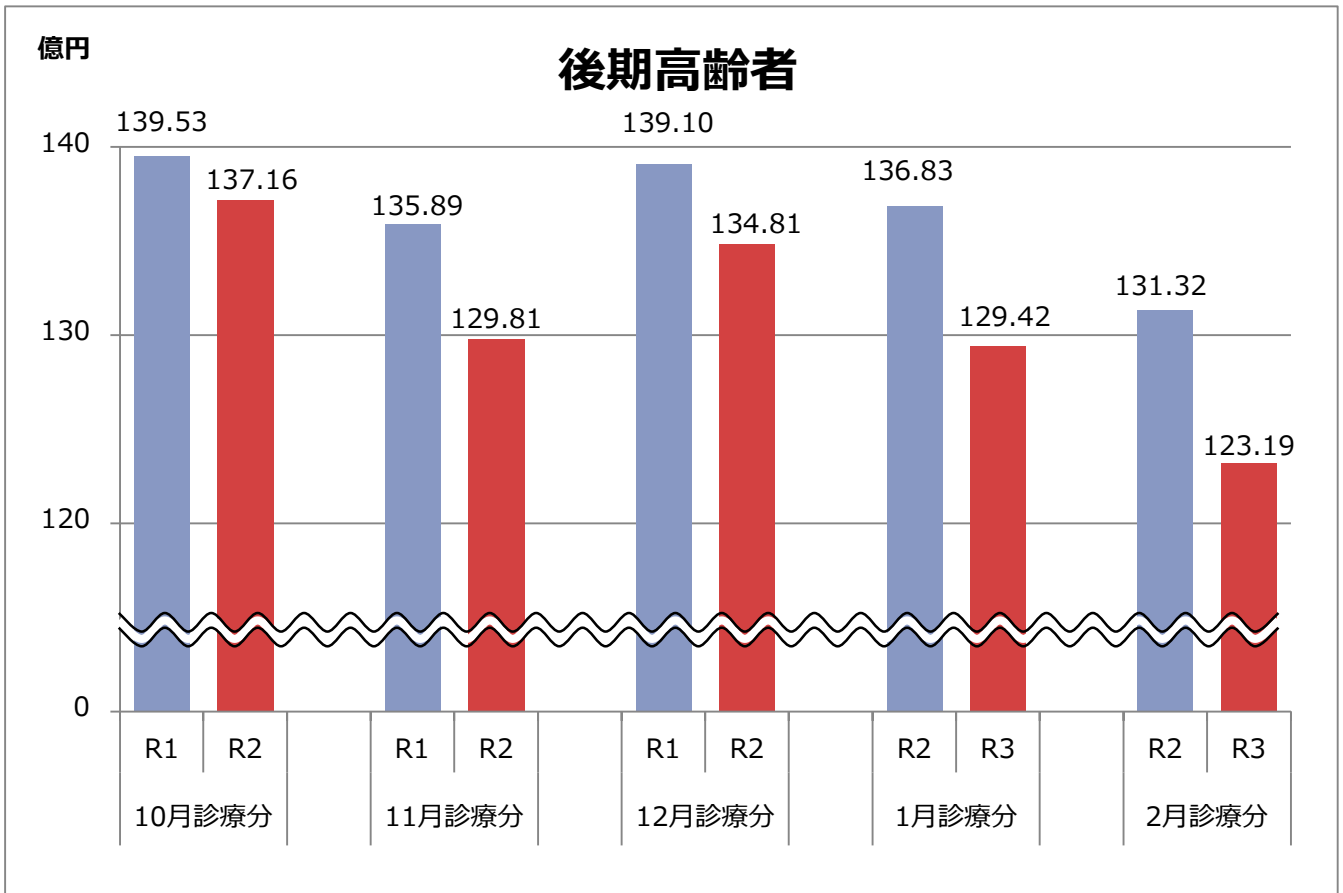
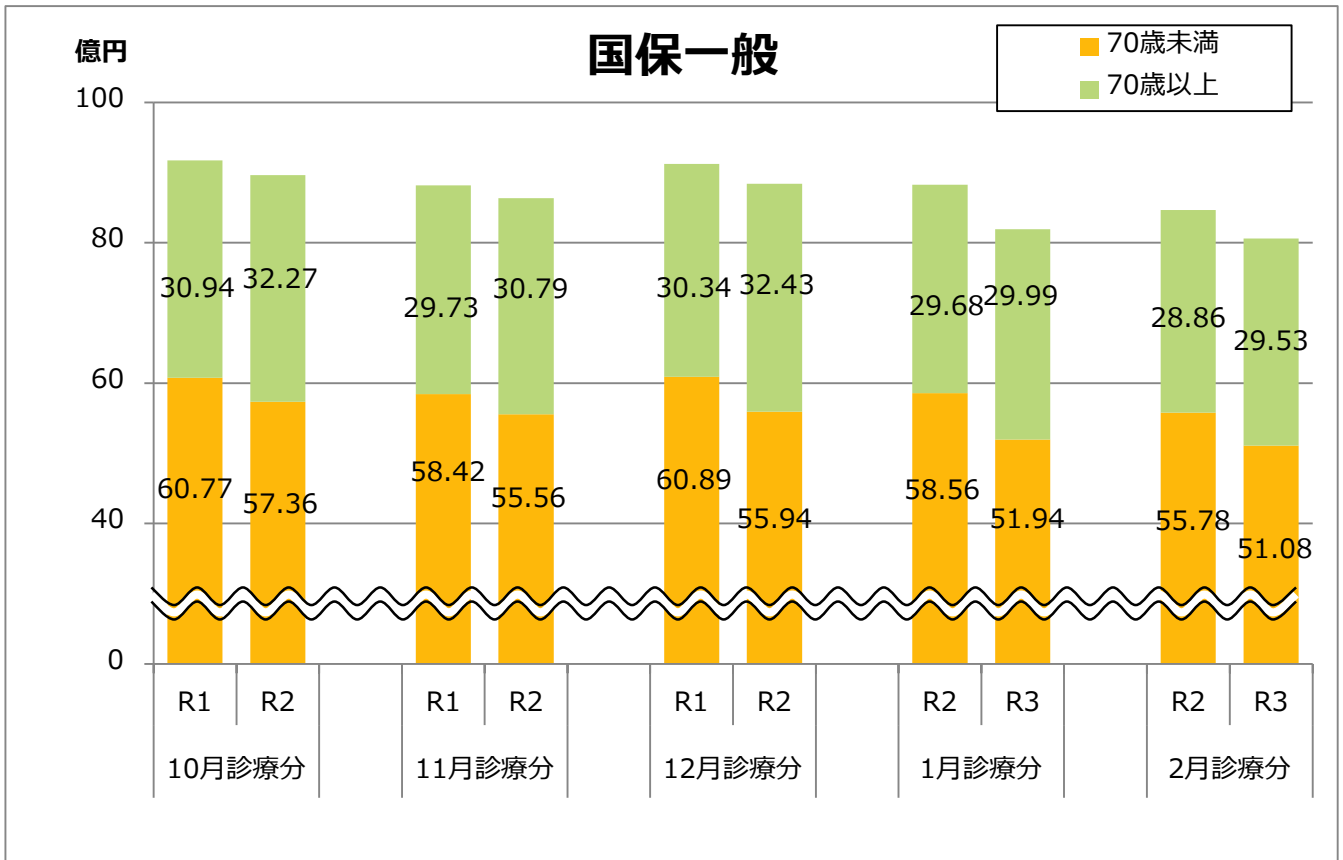
医療費データ

(注) 数値は、市町村月報集計（速報値）および宮崎県後期高齢者医療広域連合からの提供

●被保険者の推移

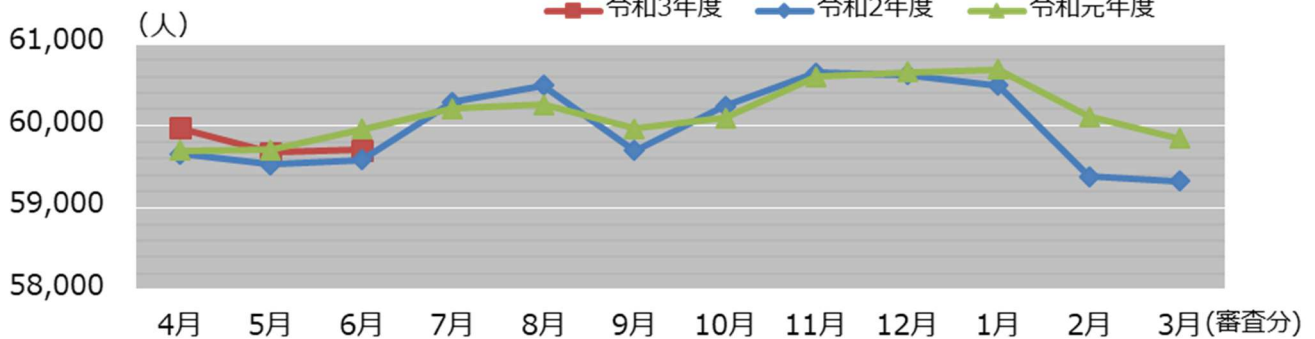


● 月別医療費



介護保険だより

● 年度別・月別受給者推移



介護保険データ (令和3年4月審査分～令和3年6月審査分)

保険者名	確定件数状況			介護給付費 (総合事業を含む)			
	R2.4月～R2.6月	R3.4月～R3.6月	前年同月比	R2.4月～R2.6月	R3.4月～R3.6月	前年同月比	
	確定件数合計	確定件数合計	(%)	給付費合計(円)	給付費合計(円)	(%)	順位
宮崎市	126,533	130,741	103.3	7,939,541,670	8,166,495,141	102.9	11
都城市	64,908	65,432	100.8	4,044,528,014	4,097,212,971	101.3	17
延岡市	48,611	49,773	102.4	3,231,421,454	3,237,202,504	100.2	19
日南市	20,948	21,486	102.6	1,490,361,284	1,535,693,652	103.0	10
小林市	18,305	18,024	98.5	1,344,603,279	1,336,186,347	99.4	23
日向市	16,220	15,605	96.2	1,211,243,342	1,207,968,463	99.7	21
串間市	6,449	6,665	103.3	549,349,201	573,155,059	104.3	3
西都市	11,092	11,071	99.8	881,434,000	881,692,789	100.0	20
えびの市	9,267	9,413	101.6	713,728,738	736,787,031	103.2	9
三股町	7,195	7,503	104.3	502,330,830	500,827,302	99.7	21
高原町	3,587	3,637	101.4	283,008,046	293,026,741	103.5	7
国富町	7,841	7,667	97.8	550,403,487	542,776,940	98.6	25
綾町	2,566	2,473	96.4	194,398,466	201,486,026	103.6	6
高鍋町	5,357	5,601	104.6	398,019,257	413,510,723	103.9	5
新富町	3,951	4,044	102.4	323,427,183	341,602,410	105.6	2
西米良村	356	374	105.1	37,255,604	38,329,317	102.9	11
木城町	1,941	1,869	96.3	151,359,438	152,122,711	100.5	18
川南町	4,574	4,469	97.7	371,562,068	366,823,345	98.7	24
都農町	2,948	3,046	103.3	229,198,199	237,112,405	103.5	7
門川町	5,745	5,828	101.4	355,434,981	363,024,922	102.1	14
諸塚村	623	649	104.2	48,507,440	56,557,305	116.6	1
椎葉村	1,195	1,155	96.7	93,765,086	89,512,972	95.5	26
高千穂町	4,304	4,221	98.1	316,629,976	329,367,369	104.0	4
日之影町	1,499	1,534	102.3	156,260,254	160,492,935	102.7	13
五ヶ瀬町	1,301	1,208	92.9	101,230,998	103,203,105	101.9	15
美郷町	2,772	2,766	99.8	224,463,104	228,020,663	101.6	16
市町村計	380,088	386,254	101.6	25,743,465,399	26,190,191,148	101.7	

- * 確定件数・給付費は国保連合会審査支払データによる。
- * 給付費合計…介護給付費、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費および総合事業費の合計。
- * 前年度伸び率は、令和2年度を100とした場合の%の表示。

お問い合わせ先 情報・介護課 介護福祉係
 TEL 0985-35-5111 / FAX 0985-25-0260
 E-mail: kaigo@kokuhoren-miyazaki.or.jp

国保連行事予定（8月～10月）

●8月

日	曜	行事	場所
6	金	国保診療施設連絡協議会看護師研修会	国保連 本館 1 階ライブラリー室
10	火	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
19	木	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
20	金	国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
		国保審査委員会（～24 日）	国保連 本館 4 階大会議室
24	火	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
		あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
		介護給付費審査委員会	国保連 東別館 1 階会議室
25	水	スマートウエルネスシティ構想推進事業研修会	国保連 本館 4 階大会議室

●9月

日	曜	行事	場所
10	金	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
16	木	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
17	金	国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
		国保審査委員会（～22 日）	国保連 本館 4 階大会議室
22	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
24	金	介護給付費等審査委員会	国保連 東別館 1 階会議室
28	火	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室

●10月

日	曜	行事	場所
9	土	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室
10	日		国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
15	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
16	土	国保審査委員会（～20 日）	国保連 本館 4 階大会議室
18	月	国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
20	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
22	金	介護給付費審査委員会	国保連 東別館 1 階会議室
26	火	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室

国保連行事予定

イベント用機材等の貸し出し

市町村の皆さまが実施する健康まつりやイベントなどで活用できます。
詳しくは、本会ホームページをご覧ください。

貸し出し品一覧

- オレンジタイム DVD
- オレンジくん着ぐるみ
- 体組成計
- もの忘れ相談プログラム
- ライフコーダEX（生活習慣記録機）
- チェッカーくん（足指力測定器）
- マイクロCOモニター（呼吸ガス分析装置）
- 健康パネル
- のぼり
- はっぴ
- テーブルクロス
- ロールアップバナー



皆さんのまちへ、
ボクを呼んでください！

宮崎県国民健康保険イメージキャラクター
「オレンジくん」

※新型コロナウイルスの感染拡大により、一部機材の貸し出しを停止しています。
詳しくは、本会総務企画課 企画調査係までお問合せください。

**Orange
Smile**
オレンジスマイル

ささえる。
つながる。

国保みやざき vol.4 2021年8月号

宮崎県国民健康保険団体連合会

〒880-8581 宮崎市下原町 231-1

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

<https://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp>